

2020年6月8日

本社所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目 23 番 5 号
上場会社名 株式会社サニーサイドアップグループ
代表者 代表取締役社長 次原悦子
(コード番号: 2180)
問合せ先 取締役 グループ管理本部 本部長 相田 俊充
電話番号 03-6894-3232

SDGs を“もっとたのしく、分かりやすく”伝えるオンラインマガジン「SDGs MAGAZINE」創刊のお知らせ ～「SSU's Social Action 3.2 for SDGs」活動状況のご紹介～

当社グループでは、国連（国際連合）で採択された SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け、SDGs 達成貢献を目的とした活動を実施・サポートしていくプロジェクト「SSU's Social Action 3.2 for SDGs」を 2019 年 3 月 2 日に発足しております。

今回、国連が定める世界環境デーにあたる 2020 年 6 月 5 日に、企業・団体の SDGs に関わる活動情報やメッセージを発信するオンラインマガジン「SDGs MAGAZINE（エスディー・ジーズ マガジン）」を創刊しましたので、お知らせいたします。

当社グループでは、当該プロジェクト発足後、「たのしいさわぎをおこしたい」というスローガンのもと培ってきた当社グループのマーケティング・コミュニケーションノウハウを活かし、様々な企業・団体の SDGs に関わる活動を PR の側面からサポートしてきました。しかし、SDGs を取り巻く社会全体に目を移すと、政府や企業・団体・有識者が懸命に議論を行い、例えば、ごみ袋の有料化やペットボトルの削減といった形で生活の中に少しずつ変化が見られるものの、「SDGs は国や企業の取り組み」という認識に留まっているのが現状です。

こうした背景の中、当社グループでは、「国内国外を問わず、企業・団体の SDGs に関わる活動や成果」を親しみやすく、分かりやすいコンテンツとして発信することが必要と考え、オンラインマガジン「SDGs MAGAZINE」の創刊いたしました。

「SDGs MAGAZINE」のコンセプトは、“SDGs を分かりやすく”。「SDGs という言葉やカラフルなロゴマークは知っていても、何から取り組みばよいか分からない」「SDGs は国や企業だけが取り組んで、自分には関わりが少ない」という生活者に対して、“分かりやすい”情報を届けることで、SDGs 達成に向けた一人ひとりの行動を喚起するようなプラットフォームを目指しております。

ニュースやコンテンツづくりを通して多くの人々に共感を与えながら、その人々の行動を喚起し、世界を変えて行くことこそが、“コミュニケーション”という目に見えないものを取り扱う当社グループの社会的な責務だと考えております。

今後も当社グループでは「SSU's Social Action 3.2 for SDGs」における様々な活動を通じ、SDGs 達成への社会的気運をさらに高めて行くことで、2030 年までの目標達成に貢献できるよう努めてまいります。

なお、今回創刊した「SDGs MAGAZINE」の詳細につきましては、別紙プレスリリースをご参照ください。

以上

(本件に関するお問合せ先)

株式会社サニーサイドアップグループ グループ管理本部 経営企画部 TEL 03-6894-2241

～6月5日は世界環境デー！

SDGsに取り組む企業・団体と世の中をつなぐ、情報発信プラットフォームが誕生～

SDGsを“もっとたのしく、分かりやすく”伝える オンラインマガジン「SDGs MAGAZINE」を創刊



“SDGs”を分かりやすく。

SDGs MAGAZINE

株式会社サニーサイドアップ（本社：東京都渋谷区 代表取締役社長：次原悦子 以下、当社）は、国連が定める世界環境デーにあたる2020年6月5日（金）に、企業・団体のSDGsに関わる活動情報やメッセージを発信するオンラインマガジン「SDGs MAGAZINE（読み：エスディー・ジーズ マガジン）」を創刊します。（URL <https://sdgsmagazine.jp/>）

■創刊の背景 ～SDGsプロジェクトの増加による情報過多社会～

当社グループでは、国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け、SDGs達成貢献を目的とした活動を実施・サポートしていくプロジェクト「SSU's Social Action 3.2 for SDGs」を2019年3月2日に発足。「たのしいさわぎをおこしたい」というスローガンのもと培ってきた当社グループのマーケティング・コミュニケーションノウハウを活かし、様々な企業・団体のSDGsに関わる活動をPRの側面からサポートしてきました。

しかし、SDGsを取り巻く社会全体に目を移すと、政府や企業・団体・有識者が懸命に議論を行い、例えば、ごみ袋の有料化やペットボトルの削減といった形で生活の中に少しずつ変化が見られるものの、生活者の中ではまだまだ「SDGsは国や企業のモノ」と捉えている方が多いのも現状です。

■SDGsに関わる活動情報を整理し、正確で親しみやすいコンテンツとして発信

こうした背景の中、当社では、「国内国外を問わず、企業・団体のSDGsに関わる活動や成果」を親しみやすく、分かりやすいコンテンツとして発信することが必要と考え、オンラインマガジン「SDGs MAGAZINE」の創刊を決定しました。

「SDGs MAGAZINE」のコンセプトは、「SDGsを分かりやすく」。「SDGsという言葉やカラフルなロゴマークは知っていても、何から取り組めばよいか分からない」「SDGsは国や企業だけが取り組んで、自分には関わりが少くない」という生活者に対して、“分かりやすい”情報を届けることで、SDGs達成に向けた一人ひとりの行動を喚起するようなプラットフォームを目指します。

ニュースやコンテンツづくりを通して多くの人々に共感を与え、その人々の行動を喚起し、世界を変えていくこと。それこそが、“コミュニケーション”という目に見えないものを取り扱う当社の社会的な責務だと考えます。「SDGs MAGAZINE」を通じてSDGs達成への社会的気運をさらに高め、2030年までの目標達成に貢献できるよう活動を進めてまいります。

■ オンラインマガジン概要

- ・名称： 「SDGs MAGAZINE（読み：エスディー・ジーズ マガジン）」
- ・創刊日： 2020年6月5日（水） ※世界環境デー
- ・URL： <https://sdgsmagazine.jp/>
- ・運営元： 株式会社サニーサイドアップ（<https://www.ssu.co.jp/>）
- ・特別協力： 株式会社ニッポン放送

「SDGs MAGAZINE」では、企業・団体・個人を問わず、SDGs が掲げる17の課題解決（貧困、教育、ジェンダー、エネルギー等）に即したプロジェクトやメッセージを紹介します。

- ①ユニークなアイデアで、SDGs の課題解決に取り組んでいる国内外のプロジェクト
- ②SDGs に関わる基礎知識や調査結果
- ③SDGs に取り組む著名人やセレブリティの情報
- ④SDGs 最前線で活動する方々のメッセージ
- ⑤有識者だけに留まらない様々な立場から見る SDGs の取り組み

などを順次紹介していく予定です。

■ これまで当社グループが手掛けた SDGs 関連プロジェクトのご紹介（一部）



ニッポン放送特別番組
「なるほどSDGs ～10年後の未来へ～」
共同企画



オールデイダイニング「bills」
全店舗での紙ストロー導入



超ダイバーシティ芸術祭

障害・性・世代・言語・国籍などを超えた
パフォーミングアーツの祭典
「True Colors Festival - 超ダイバーシティ芸術祭 -」



アジア最大級のLGBT イベント
「TOKYO RAINBOW PRIDE」



世界の女性トップリーダーが集結
「W20 JAPAN 2019」



「国際女性デー」で女性に
感謝を伝える福利厚生「プレミアムウーマンデー」



病気の子どもたちと一緒にクリスマスを祝う
チャリティーイベント「東京グレートサンタラン」



貧困撲滅の世界的アドボカシー活動
「ホワイトバンドプロジェクト」

環境負荷低減を目指すカーボンオフセット年賀



日本郵政グループの社会貢献事業
「カーボンオフセット年賀」

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社サニーサイドアップグループ 広報担当：奥山（080-4170-8689）
SDGs MAGAZINE 担当：森井（070-1390-4675）
TEL: 03-6894-3232 Email: koho@ssu.co.jp